

# 2017年(平成29年)3月期 決算概要

長瀬産業株式会社  
2017年5月2日

Copyright © 2017 NAGASE & CO., LTD.

## 目次

■ 連結損益計算書	2
■ 地域(国内・海外)別売上高	3
■ セグメント別売上高2期比較	4
■ セグメント別営業利益2期比較	5
■ 連結貸借対照表	6
■ 連結キャッシュ・フロー	7
■ 2018年3月期業績見通し	8
■ 配当状況	9

- 売上高：円高およびナフサ価格下落等の影響を受け、全体で減収
- 営業利益：退職給付会計における数理計算上の差異 31億円を費用計上（前期比損益影響額▲40億円）したこと等により、減益

(単位:億円)

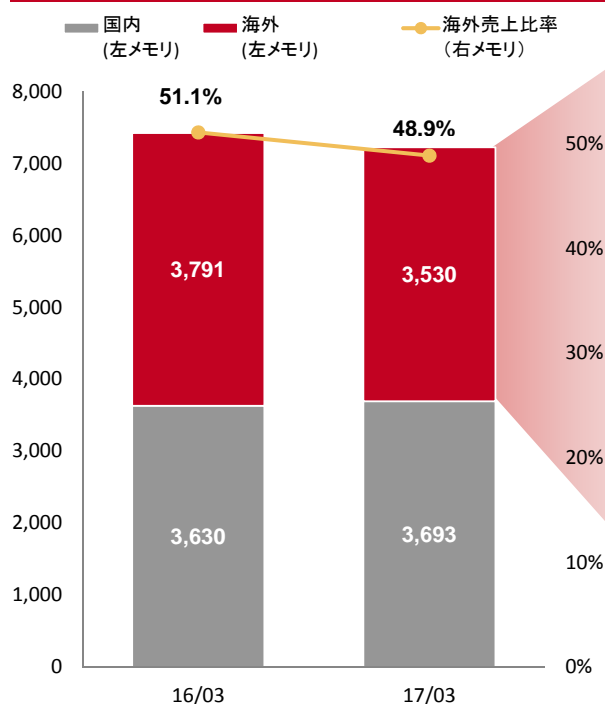
	16/03	17/03	増減額	前期比	公表見通し (通期)	計画比
売上高	7,421	7,223	△198	97%	7,350	98%
売上総利益	916	915	△1	100%	923	99%
<利益率>	12.4	12.7	+0.3%	-	12.6%	-
販売費及び 一般管理費	736	764	+28	104%	778	-
営業利益	180	150	△29	83%	145	104%
経常利益	183	163	△20	89%	160	102%
親会社株主に帰属する 当期純利益	123	103	△19	84%	95	109%
US\$レート (期中平均)	@120.1	@108.3	@11.7 円高		@108	-

【17/3期の売上高および営業利益に対する為替変動の影響額】  
 売上高:約△468億円      営業利益:約△17億円

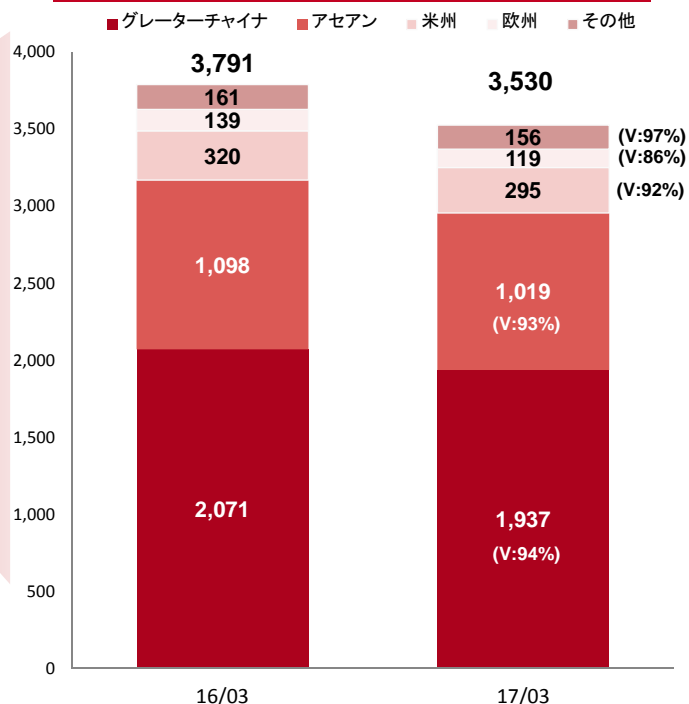
## 地域(国内・海外)別売上高

- 海外は円高の影響等により、減収となるも、国内は増収

国内・海外売上高(億円、%)



海外売上高の地域別内訳(億円、%)

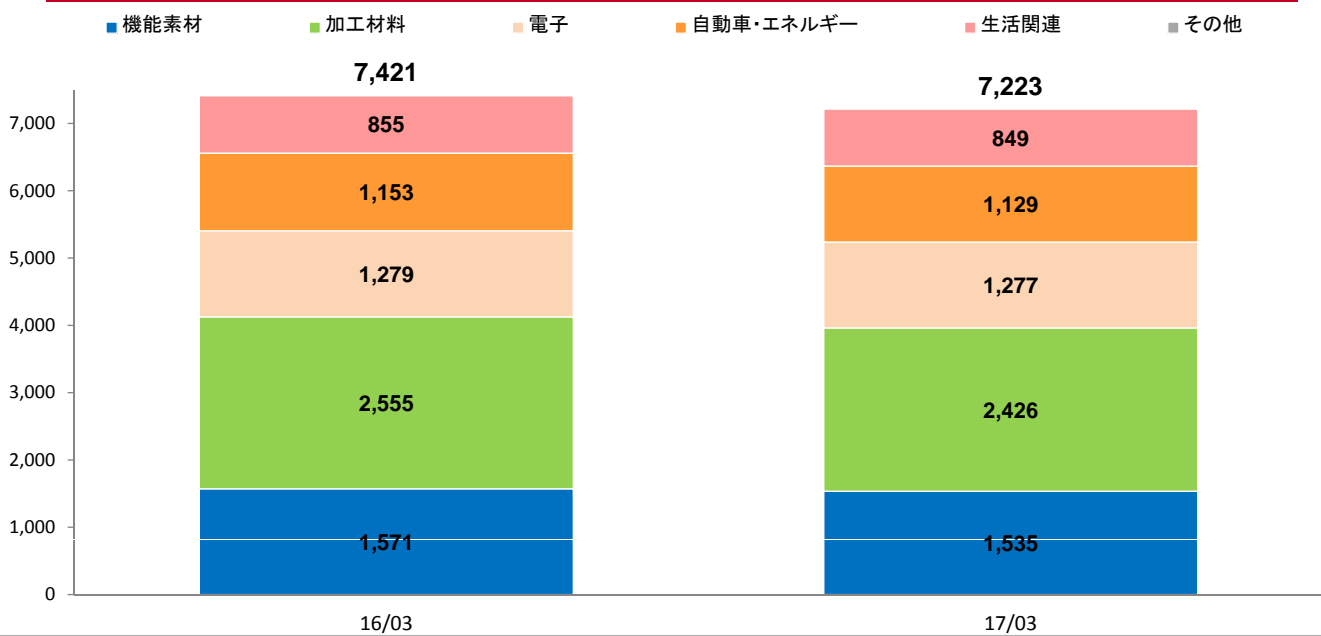


※V:前期比

# セグメント別売上高2期比較

- 機能素材：米州における樹脂添加剤およびシリコン原料の売上は堅調に推移したものの、ナフサ価格下落の影響等を受け、塗料原料およびウレタン原料等の売上が減少し、全体で減収
- 加工材料：導電性材料等の売上は増加したものの、グレーターチャイナを中心とした合成樹脂、国内外での包装材料用合成樹脂および情報印刷関連材料等の売上が減少し、全体で減収
- 自動車・エネルギー：国内における樹脂ビジネス等が伸長したものの、海外においてナフサ価格下落の影響等により売上が減少し、全体で減収

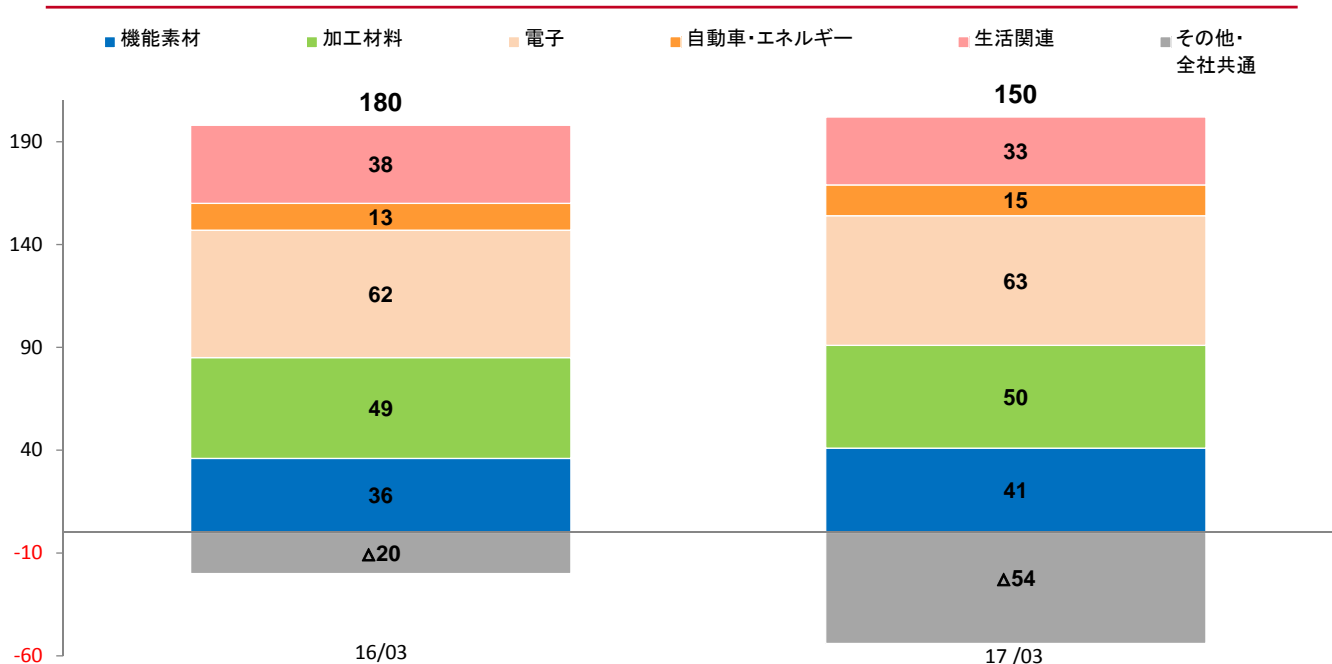
## セグメント別 売上高 (億円)



# セグメント別営業利益2期比較

- 生活関連は化粧品・健康食品の減収に伴い減益となったものの、他セグメントにおいては、製造子会社の採算改善や原価低減策の実施等により増益
- その他・全社共通：退職給付会計における数理計算上の差異31億円を費用計上(前期比損益影響額▲40億円)  
※前期末において、市場金利低下を受けた割引率の見直し等により、数理計算上の差異が31億円発生(当期一括償却)

## セグメント別 営業利益 (億円)



## 連結貸借対照表

- 流動資産は、売掛債権の増加により増加
- 固定資産は、投資有価証券の増加(一部を売却したものの、保有株式の時価上昇)等により増加
- 自己資本比率は、1.2ポイント増加し、54.7%

資産				負債及び純資産			
	16/03	17/03	増減額		16/03	17/03	増減額
<b>流動資産</b>	<b>3,123</b>	<b>3,212</b>	<b>+88</b>	<b>流動負債</b>	<b>1,561</b>	<b>1,664</b>	<b>+103</b>
現金・預金	432	398	△34	支払手形・買掛金	978	1,020	+42
受取手形・売掛金	1,963	2,068	+105	短期借入金 (1年内返済予定長期借入金含む)	341	316	△24
棚卸資産	629	631	+2	1年内償還予定の社債	—	100	+100
その他	97	114	+16	その他	241	327	+85
<b>固定資産</b>	<b>1,997</b>	<b>2,095</b>	<b>+98</b>	<b>固定負債</b>	<b>768</b>	<b>690</b>	<b>△77</b>
有形固定資産	664	676	+11	長期借入金	231	200	△30
無形固定資産	445	407	△37	社債	300	200	△100
投資・その他の資産合計	887	1,011	+124	退職給付に係る負債	140	146	+5
投資有価証券	813	945	+132	その他(繰延税金負債等)	96	143	+47
その他	74	66	△7	<b>負債合計</b>	<b>2,329</b>	<b>2,355</b>	<b>+26</b>
				<b>純資産</b>	<b>2,791</b>	<b>2,951</b>	<b>+160</b>
				株主資本	2,346	2,396	+50
				その他の包括利益累計額	393	505	+112
				その他有価証券評価差額金	370	476	+106
				為替換算調整勘定	44	31	△12
				その他	△21	△2	+19
				非支配株主持分	51	49	△2
<b>資産合計</b>	<b>5,120</b>	<b>5,307</b>	<b>+186</b>	<b>負債及び純資産合計</b>	<b>5,120</b>	<b>5,307</b>	<b>+186</b>

## 連結キャッシュ・フロー

- 営業CF+145億円(税引前利益+161億円等)、投資CF▲65億円(固定資産取得支出▲115億円等)、財務CF▲105億円(借入金収支▲49億円、配当金の支払い▲40億円等)となり、全体として▲31億円の資金の減少
- ※地域別では、グレーターチャイナにおいて主に運転資金の増加に伴い44億円の資金が減少

### キャッシュ・フローの状況

(単位:億円)

	17/03	主な内訳	16/03
営業活動によるキャッシュ・フロー	+145	税引前利益+161 減価償却費・のれん償却費+109 退職給付に係る負債+32 運転資金▲77 法人税等▲77	+293
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲65	有形固定資産の取得による支出▲106 無形固定資産の取得による支出▲8 投資有価証券の取得による支出▲18 投資有価証券の売却による収入+46	▲126
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲105	短期・長期借入金収支▲49 配当金の支払い▲40 自己株式の取得による支出▲11	▲128
現金および現金同等物に係る換算差額	▲5		▲15
現金および現金同等物の増加額(▲減少額)	▲31		+23
現金および現金同等物の期首残高	429	日本 239, GC 115, アセア 42, 欧州 18, 米州 4, その他 9	405
現金および現金同等物の期末残高	397	日本 254, GC 70, アセア 35, 欧州 18, 米州 5, その他 13	429

# 2018年3月期 業績見通し

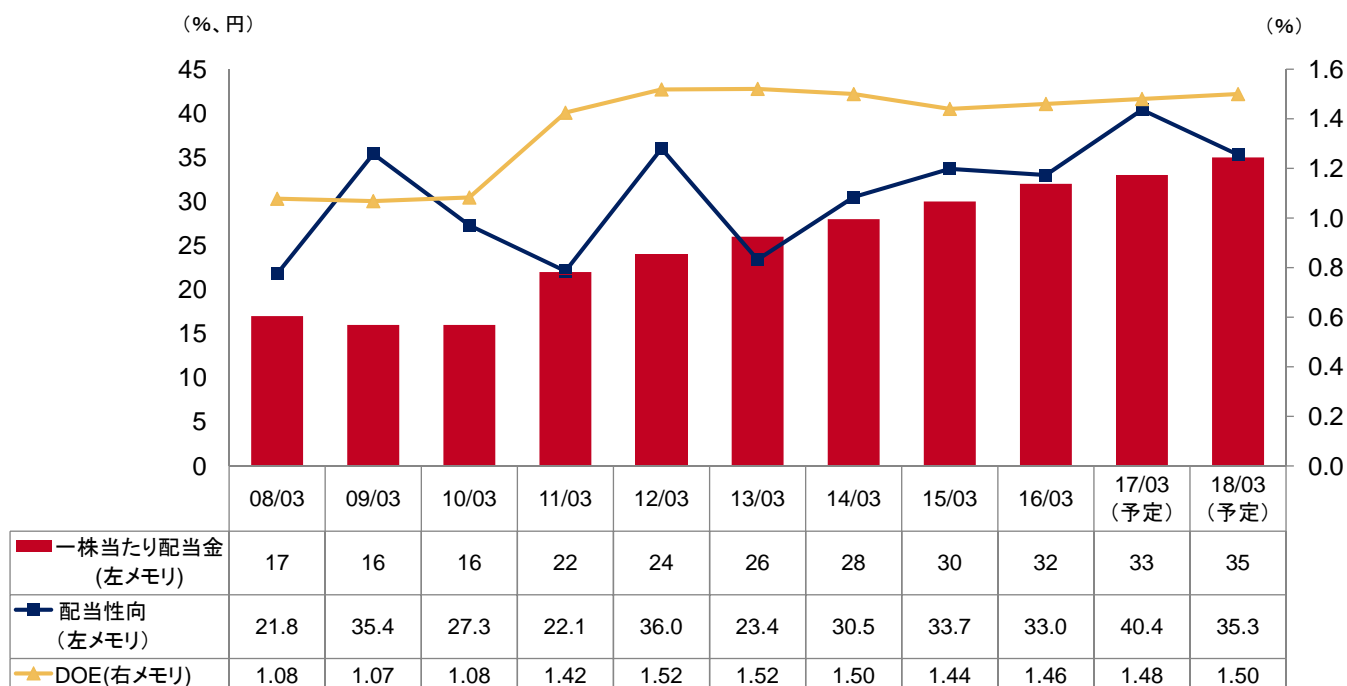
- 売上高：電子は、液晶関連部材等の売上が減少するものの、加工材料において合成樹脂等の売上が増加する等、他セグメントの売上が好調に推移し、全体として増収見込み
- 営業利益：増収による増益に加え、退職給付会計における数理計算上の差異の償却額が3億円(前期比損益影響額+28億円)となることから増益

(単位:億円)

	17/03実績	18/03見通し	増減額	前期比
売上高	7,223	7,320	+96	101%
営業利益	150	191	+40	127%
経常利益	163	209	+45	128%
親会社株主に帰属する当期純利益	103	125	+21	121%
US\$レート (期中平均)	@108.3	@108	0.3円高	—

# 配当状況

- 当期：中間配当金16円、期末配当金17円の年間配当金33円を予定（1円の増配）
- 来期：中間配当金17円、期末配当金18円の年間配当金35円を予定（2円の増配）



※17/03 期の期末配当金は、2017年6月開催予定の株主総会にて付議予定

 **NAGASE**  
Bringing it all together

<http://www.nagase.co.jp>

当プレゼンテーション資料には、2017年5月2日時点の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競合状況・為替変動等に関わるリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予測と異なる可能性があります。